

室蘭地方気象台からのお知らせ ～火山防災について～

日本に多くある火山は、きれいな景色や温泉、農作物を作るのに欠かせない良質な土壌をもたらす一方で、噴火活動によって火山災害を引き起こし私たちに被害をもたらすことがあります。火山災害を引き起こす主な火山現象には「大きな噴石」や「火砕流」などのほかに「火山灰」があります。

火山灰は比較的細かな固形物で、上空の風に運ばれて広い範囲まで拡散し、農作物、交通機関、建造物などに被害をもたらすことがあります。樽前山の過去の大規模噴火では、苫小牧北方で約2m、十勝平野でも数cmに達したという記録が残っています。

気象庁では、これら火山災害軽減のため、居住地域や火口周辺に影響が及ぶ噴火の発生が予想された場合などには、噴火警報を発表しています。また、どこにどれだけの量の火山灰が降るかを伝える降灰予報を発表しています。

これらの火山に関する情報は、気象庁ホームページの登山者向けの情報提供ページなどでご覧いただけます。

気象庁ホームページ 火山登山者向けの情報提供ページ (全国)

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html



こちらから
アクセスできます

【降灰予報リーフレット図】

名称	表現例		影響ととるべき行動		その他の影響	
	厚さ キーワード	イメージ※1		人		道路
		路面	視界			
多量	1mm 以上 【外出を控える】	完全に覆われる 	視界不良となる 	外出を控える 慢性の喘息や慢性閉塞性肺疾患(肺気腫など)が悪化し健康な人でも目・鼻・のど・呼吸器などの異常を訴える人が出始める	運転を控える 降ってくる火山灰や積もった火山灰をまきあげて視界不良となり、通行規制や速度制限等の影響が生じる	がいしへの火山灰付着による停電発生や上水道の水質低下及び給水停止のおそれがある
やや多量	0.1mm≦厚さ<1mm 【注意】	白線が見えにくい 	明らかに降っている 	マスク等で防護 喘息患者や呼吸器疾患を持つ人は症状悪化のおそれがある	徐行運転する 短時間で強く降る場合は視界不良の恐れがある 道路の白線が見えなくなるおそれがある(およそ0.1~0.2mmで鹿児島市は除灰作業を開始)	稲などの農作物が収穫できなくなったり※2、鉄道のポイント故障等により運転見合わせのおそれがある
少量	0.1mm 未満	うっすら積もる 	降っているのが ようやくわかる	窓を閉める 火山灰が衣服や身体に付着する 目に入ったときは痛みを伴う	フロントガラスの除灰 火山灰がフロントガラスなどに付着し、視界不良の原因となるおそれがある	航空機の運航不可※2

※1 掲載写真は気象庁、鹿児島市、(株)南日本新聞社による
※2 富士山ハザードマップ検討委員会(2004)による想定